

東京 IPO 特別コラム

2017年8月28日 Vol.95

UUUMにつながる?3月IPOのZOOM株

いよいよ今週30日は皆様お待ちかねのUUUM（ウーム・3990）がマザーズ市場に登場してきます。某大手携帯電話会社に入社した1983年生まれの鎌田社長が今やタレント同様に多くの視聴者から支持を受けるYouTuber「HIKAKIN」との出会いや孫泰蔵氏との出会いを通じ2013年に同社を設立。設立3年目で売上げが30億円を超え、経常黒字化を達成。いまや人気YouTuberの活動をマネジメントする企業として急成長を遂げようとしています。

同社に所属するクリエイターは2017年6月末で178名。チャンネル数は4526となっており、HIKAKINはその中でも同社の顔となっています。YouTubeは新たなインターネットメディアとして様々なジャンルでチャンネル数を増やしていますが、今後も一般市民が気軽に音楽やニュースなどの情報を得るメディアとしてだけでなく自らが情報発信するツールとしても利用が広がるものと見られます。今回の公開株数は59万株余りでIPO時の発行済み株式数は600万株にしか過ぎません。公開株価は2050円で時価総額は123億円。これに対して初値が2倍でスタートしたとして246億円となります。今期の予想経常利益は3.8億円ですので割高感が出てくるかも知れませんが、話題性と今後の成長性を加味すれば必ずしも割高とは言えません。すべては市場に参画する投資家がどう評価するのかにかかってくると思いますが、今年のIPO銘柄の中でもトップクラスの賑わいが予想されます。

なかなかついていけない投資家にはYouTuberつながりで音楽・映像収録機器のズーム（6694・時価1714円）に注目されてはどうでしょうか。同社は3月28日にJASDAQ市場に公開価格1520円で上場し初値2278円、高値は2331円までありましたが、その後は認知度が低いせいか調整局面が続いています。時価総額37.8億円で今期予想経常利益は3億円。設立は1983年、ファブレス経営で固定資産を持たず内部蓄積を進めてきたため保有する現預金は35億円にも達しています。グローバル化を推進し世界中に市場を求めており、北米市場が現在はメインですが欧州、中国などでの販売拡大が今後期待されます。先週24日に2017年12月期中間決算の説明会を主幹事証券にて開催し、クリスマス商戦に向けた新製品の好調ぶりからかなりの自信を示していました。また、R&Dに注力しており、新製品を今後も投入しながら成長を目指すとの社長の発言は力強い。ユーザーにYouTuberがいるということで、その関連銘柄ということも言えますが、本質的には音楽に精通したプロのエンジニアである社員一人一人の提案力の高さが重要ということやアーティストからクリエイターへとユーザーの層が広がっていて、その中にYouTuberも含まれているということです。

調整気味に株価が推移する今、人気化が予感されるUUUMつながりのズームという視点で見直されてはいかがでしょうか。（東京IPOコラムニスト 松尾範久）